

カキ輸出の円滑化に向けた出荷物に混入する害虫対策とビジュアルマテリアルの作成

- 実施期間：令和5～6年度
- 担当部署：病理昆虫部
- 区分：外資（植物検疫上の要求事項を満たすための体制の構築事業）

○研究内容

カキの輸出拡大を阻害する大きな要因に、輸出検疫上の重要害虫であるフジコナカイガラムシの出荷物への混入があります。一方、本虫の防除に重要な役割を果たしたDMTP剤が生産・販売中止となりました。そこで、本虫の防除を世代ごとに再評価し、出荷物への混入を回避できる防除体系を構築します。

さらに、輸出の円滑化には、実施している病害虫管理などを輸出相手国に正しく伝達し、理解を図る必要があります。しかし、生産から出荷までの管理内容の理解を促す資料はありません。そこで、輸出相手国の理解促進に向けた視覚映像資料（ビジュアルマテリアル）を作成し、県産カキの輸出円滑化につなげます。

背景



研究内容

